

Year: 2020

Location: Japan

Program: 宿泊施設

旧アートビオトープ・スイートヴィラ



約16,000m²の広大な敷地に計画された分棟形式の宿泊施設である。敷地の両脇を流れる溪流を間近で楽しめるように、土地の形状を活かして、全棟木造60m²の14棟（計15室）のヴィラが配置されている。緩やかな傾斜の土地に沿うように、室内はスキップフロア形式になっており、大開口の4枚引戸を開けると、大きく外へ張り出した屋根の下に設けられた奥行き3mのテラスと室内が一体的に結ばれる構成になっている。幅5.4mの大開口部は、450mmピッチで並ぶ12m長の登り梁を束材として木製上下弦材で挟み、筋交いを入れてトラスを形成することにより大梁をなくすことで、屋内外の空間が途切れず連続している。浴室は2面を開けることで半屋外空間となる。外壁には敷地の造成中に出土した石が使われている。